

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年7月11日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700019
法人名	医療法人 松風会
事業所名	松風の里
所在地	鹿児島県志布志市志布志町安楽52番地3 (電話) 099-472-0911
自己評価作成日	平成29年6月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年6月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

敷地内に同法人の医院を併設している。医院看護師が定期的に利用者様の検温に来て日頃の健康状態を把握している。体調不良や緊急時にはメールや内線電話で医院に報告し、早めの病院受診が出来る流れが出来ている。ホーム職員に看護師や准看護師が多数勤務しているため、医療面が充実している。医院との連携が密に取れている事でご本人やご家族の安心につながっている。

各ユニット毎に毎月行事を計画しており、利用者様に季節感や楽しみを感じてもらえる様に工夫している。お天気の良い日にはベランダで日光浴を兼ねて茶話会を開くこともあり、利用者様にも喜んでいただいている。

運営推進会議は地域の方とご家族に参加して頂いている。昨年は外部講師をお呼びし、利用者様と一緒にフラワーアレンジメントを行い好評だった。年に2回の消防訓練ではご家族に利用者様役・地域の方に救助者役をしてもらい、実践に役立つように訓練をしている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体が医療法人であり、同敷地内にホームが立地している。24時間医療連携体制が整い、医療面の対応が迅速である。看護職員の体制も充分で本人や家族の安心につながっている。
- ・行事の年間計画をたて、クリスマス・お正月・節分・誕生会・花見・お釈迦祭り・駅伝見物など、地域とのふれ合いや人との交流ができるように配慮があり、多彩で利用者を楽しみと、メリハリのある暮らしを提供している。
- ・運営推進会議の取り組みに工夫が見られ、会議への家族のはがきの案内に意見欄を設けるなど、全家族に郵送して成果を得ている。防災訓練を参加者と一緒に行い、消防署の助言・指導を受けている。
- ・毎月発行の「松風の里便り」は入居者の様子が良く分かり、ホームの生き生きとした暮らしが家族に伝わり、日頃から密な連携がとれている。「フラワーアレンジメント」の作成や「介護百人一首」の募集などユニークな取り組みがある。
- ・管理者は職員の育成に力を入れ、研修会に参加しやすい環境を作り、質の高いサービスを提供する姿勢が見られる。入居者の一人ひとりを良く知る職員と過ごせ、落ち着いた雰囲気がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニット毎に理念があり、朝・夕の申し送りの前に夜勤者・日勤者で唱和し仕事に入るようにしている。	地域密着型サービスを踏まえたユニットごとの理念があり、玄関やリビングに掲示し、朝・夕唱和している。理念はユニット会議や職員会議の時に日頃のケアを振り返って実践を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	香月集落に加入している。町内会からの回覧板を回覧し、地域の行事や出来事を把握し、可能な範囲での行事参加に努めている。また、運営推進会議メンバーに地域の方々がおられ地域の情報を得る様に努力している。	町内会に加入し、お月見などの地域行事や駅伝・小学校の運動会等を見物したりしている。認知症サポーター養成講座も2回開催し、認知症に関する情報を発信し、助言などを行っている。ボランティアの受け入れなども行って、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を2カ月に1回実施し、その中で施設の様子を踏まえながら認知症に関する話や質問を受け、認知症の理解につながるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で利用者様の様子や出来事・ヒヤリハットの報告などを行いメンバーの方々と意見交換している。又、消防訓練へ参加して頂き施設内の様子も見て頂いている。家族の方に多く参加いただけるよう、開催前にご家族全員に案内はがきを郵送している。</p>	<p>2ヶ月毎に定期的開催している。事業所の状況や入居者の現状、行事計画、ヒヤリハット、感染症、緊急時の対応、外部評価結果報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案が出され、防火扉をわかり易い表示へと変えたり、災害時の初動活動に地域壮年部への応援依頼をしたり、認知症についての講演会も開催している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターの方に運営推進会議や消防訓練に参加して頂き、その都度意見をもらい改善できるよう努めている。また分からない事があれば直接電話や出向くなどして尋ねる様になっている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き更新手続きや、事業所の実情など伝え、連携を深めている。市主催の研修会にも積極的に参加し、地域包括支援センターとは、運営推進会議や消防訓練を通して協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年に2回身体拘束に関する勉強会を行っている。また問題が生じた時などその都度ショートカンファを行いスタッフ全員が身体拘束に対する意識を高めることが出来る様努めている。</p>	<p>身体拘束廃止宣言をしている。年2回マニュアルに沿って勉強会を実施し、職員の共通認識を図っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年に2回虐待に関する勉強会を行っている。その中で自分のお世話を振り返る機会を作りお世話に繋げていけるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>カンファレンスの中で勉強会の機会を持ち、職員に制度の周知が出来る様努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時、利用者やご家族の方に不安や疑問点を尋ねてサービス内容等十分な説明を行い書類にサイン・捺印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の方が面会に来られた時に意見・要望を尋ね記録に残し対応している。月に一度運営会議を行い議題に上げ話し合いをしている。ご家族に郵送する推進会議の案内はがきにご意見欄を設け、ご意見等を自由に書き込めるようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や家族会、電話、運営推進会議等が意見を聞く良い機会としている。家族に郵送する運営推進会議案内のはがきにも意見欄を設けている。毎月の便りと2ヶ月毎に担当者のコメントを送付している。出された意見や要望等を職員で話し合い、運営やケアに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々、スタッフの意見や提案を聞き、運営会議で協議事項としてあげ、検討している。決定事項についてはメールで報告があり他のスタッフが周知できるよう連絡ノートに記載し伝達している。	管理者は運営に関する職員の意見や提案を運営会議等で協議し、反映を図るよう心がけている。出された意見や提案で認知症についての「介護百人一首」に取り組んだり、市職員による「出前講座」を勉強会に取り入れるなど反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	研修の参加・資格の取得や業務内容の見直し、話し合いを行い介護処遇改善加算に反映され向上心を持って働けるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員に対しては基本的な介護が出来る様に担当者を決めて指導を行っている。また、認知症について勉強会を行っている。経験年数に応じて実践者研修等にも積極的に参加する様呼びかけている。またカンファレンス時には月ごとテーマを決めて勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会や研修に参加し、他の施設の方と積極的に情報交換の場を設け、地域医療の交流会への参加を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っている事や不安な事や要望等、本人の言葉に耳を傾け、安心してお世話が出来る関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	スタッフから声掛けや挨拶を行い家族が意見や要望等を気軽に伝えられるように努めている。可能な限り家族からの意見や要望に応える事で安心して生活できる関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前・入居時にご家族・本人と面談を行い情報収集し可能な限り意思を尊重し必要な見極め対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活背景をとらえスタッフと一緒に会話や散歩等のコミュニケーションを図りながら関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面談や電話の際は現在の近況を伝えている。面会時は落ち着いて過ごせるよう居室で過ごして頂いている。遠いご家族にも様子が分かるよう毎月お便りと、2ヶ月毎に担当者のコメントを郵送している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行事やドライブを兼ねてなじみの場所や地域の行事に可能な限り参加するように努めている。	親戚や友人・知人の面会が多く、一緒にお茶を飲んだりしている。地域の祭りや駅伝見物、買い物等にドライブを兼ねて同行して、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で外出や外食、墓参、理美容院利用などに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者個人の性格やレベルに合わせて席を変えたり散歩や日光浴を楽しんで頂くよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族の方が立ち寄られた時は挨拶や話を聞き相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	それぞれのご家族の要望やご本人の希望に添える様入居時には聞き取りを行っている。	利用者からは日々の関わりの中で、思いや意向の把握に努めている。家族からも面会時や運営推進会議の時に聴き取りしている。意思疎通が困難な場合は、職員間の情報や家族と相談して、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。家族の相談事も気軽に受けている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族にセンター方式の用紙の記入をして頂きこれまでの暮らしを把握している。ご家族から情報を得たりご本人と会話する中で昔の生活やなじみ子供さんたちの事を聞かせて頂き、サービスに活かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の利用者の体調に合わせて天気の良い日には日光浴をしたり室内では皆様と一緒に会話やビデオを見て過ごして頂いている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度カンファレンスを実施している。必要がある場合にはショートカンファレンスを開きご家族にも連絡報告を行っている。定期的に担当者会議を開催しご家族の方と意見交換している。	本人や家族を交え、主治医の意見も踏まえた担当者会議で個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、必要時にショートカンファレンスを開き6ヶ月毎に担当者会議で見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランを台帳に挟み記録の際はすぐに確認でき個人のケアプランに沿った記録が出来る様にしている。医療面やひやりなどは文字の色を変え記録しスタッフが情報を共有できるようにしている。ショートカンファレンス後は期間を決めて評価している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族や本人の要望があれば出張散髪を利用している。またご家族から外出や外食の要望があれば本人の体調などをみながら可能な限り希望に添える様にしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議のメンバーの方に避難訓練に参加して頂き協力を得ている。また推進会議の時に利用者様本人やご家族の方にも参加して頂き外部からの講師を招きフワラーアレンジメントや介護の勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同敷地内に医院が併設されている。本人やご家族の希望がなければ併設医院をかかりつけ医としている。メールや内線で状態報告を行いスムーズに受診が行えるよう連携を図っている。専門機関への受診が必要な時はご家族に連絡報告し適切な医療が受けられるようにしている。</p>	<p>受診は、本人や家族の希望で母体の医療機関が主治医となっている。歯科の往診も受け入れている。他科受診は家族の協力を得て支援している。職員看護師の健康管理などの連携も図られ、緊急時の対応も連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>異常や変化に気づいた時はホームの看護職員や検温に来る医院の看護師に報告している。併設医院へメールや内線で報告し必要があれば受診や往診をお願いしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は看護職員が付き添っている。看護・介護サマリーを使い情報提供を行っている。また面会に行った時には本人や担当医・看護師から情報を得る様にしている。退院時期などの連絡調整など密に行い不安なくホームに帰ってこられるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に本人やご家族に「重症化した場合の対応に関する指針」の説明を行い納得して頂いた上で書類にサインして頂いている。状態の変化に合わせてその都度主治医より状況説明を行っている。看取り時のご家族の意向については併設医院の看護師が書面にて確認しGHと情報を共有している。こまめに状態観察を行い主治医や医院看護師に連絡が取れる様にしている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い、主治医より病状の説明を行い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は医師と職員が連携を取り、随時意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>食事時の気道閉塞時の対応など看護師を中心に指導を受けている。急変時や事故発生時の連絡対応手順についてはフローチャートを分かりやすい所に貼り連絡報告があればスムーズに出来る様にしている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>5月・11月に避難訓練を行っている。11月には消防職員の方に来て頂き指導を受けている。地域の方の協力もあり職員同士協力体制を作っている。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、避難訓練を実施している。自主でも年1回行っている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、防火扉や避難経路等の点検も行っている。緊急連絡網に近隣住民が登録され地域との協力体制が整っている。自動警報装置・消火器等の点検も行っている。災害時の水、米、缶詰、インスタント食品、食料、カセットコンロ等を常備している。職員用ヘルメットもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>排泄時など他の利用者に気づかれないよう誘導する。便座に座られた時にはひざ掛け使用する。入浴時にはカーテンを閉め他から見られないように配慮する。人生の先輩として声掛けは丁寧な言葉使いを心掛けている。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、利用者に合わせた言葉かけをしている。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。名前は「さん」付けするなど、個々に対応している。入室時のノックや言葉使い等、誇りやプライバシーを損ねないように気配りしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>「どうしたいのか」「何をしたいのか」声掛けやジェスチャー等で対応し意思確認しながら自己決定できるよう働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>体温・血圧を毎日測り健康状態を把握し散歩・ゲーム・ビデオ鑑賞など楽しい時間を過ごせるよう努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝洗顔・整髪後、ご自分で洋服を選んで頂くよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	やさいの皮むきや味見をお願いし好みの味付けになるよう支援している。その人に合った食事形態にし、旬のものを提供できるよう支援している。	旬の食材で、個々に応じた献立を作成し、食事形態のきざみ食等を工夫している。食事の準備や野菜の皮むき・味見・片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生日や季節の行事食・出前・外食・遠足・園庭での昼食などを行い、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の嚥下状態に合わせきざみ食やとろみをつけた食事が提供出来る様工夫している。10時15時にお茶を飲んで頂き、食事毎にも水分補給できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食事後、就寝前に口腔ケアを行っている。出来る方はご自分で、できない方はスタッフが介助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導している。紙おむつ使用を減らし下着を着用。トイレ誘導できない方は時間を決めてベッド上にておむつ交換し快適に過ごせるよう支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導している。必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄後の清潔保持やオムツを減らす取り組みもしている。改善がみられた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便通の良い物をおやつ等で提供し、また水分補給・腹部マッサージを行い排便を促している。便秘が続くときは主治医に相談し整腸剤・座薬・緩下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	必用に応じ時間・曜日は変わる事もあるが基本週3回入浴している。入浴中は会話をしたり音楽を聴いて頂いたりリラックスしながら入浴している。	入浴は基本的に週3回、午前中に行っているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。入浴中はラジオや音楽・会話をしながらゆっくりとした時間を過ごしている。入りたくない時は、無理をしないで時間をずらしたり、本人の意志で対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の就寝時間に合わせて休んで頂いている。体調をみながら午前午後に休まれる方もいる。夜間不安のある方はスタッフと一緒に過ごし安心して頂けるよう配慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の時はスタッフ同士で声掛け確認を行っている。また服用後の確認もしている。お薬手帳を個別に作りいつでも見られるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	機能維持のため野菜の皮むき・洗濯物たたみの手伝いをして頂いている。おやつを食べながらテレビ鑑賞・談笑などし気分転換を計っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	各季節に応じて行事を行い外出している。また本人の希望で買い物や散歩に出かけたりしている。	日常的に天気の良い日は周辺を散歩したり、近くのコンビニへ買い物やホームの庭で外気浴をしている。年間計画をたてて、コスモスや紫陽花見物・初詣・お釈迦まつり・そうめん流し等、外出支援で季節を味わっている。地域の行事の小学校の運動会や県下一周駅伝大会の応援にも行っている。家族の協力以外泊や外出・外食・墓参等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に事前に了承を得て本人の欲しい物などを一緒に買いに行っている。また自己管理の難しい方にはご本人・ご家族の希望に応じてこちらで管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙は付き添いで本人に開封して頂き、電話が来た時は直接話をして頂いている。ご本人の希望があればご家族に了承を得たうえで電話をする様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには花や壁飾り等で季節を感じられるよう心掛けている。廊下には各月の行事の写真を掲示している。浴室はカーテンを使用しプライバシーの確保に努め希望があればラジオや音楽をかけて心地よく入浴して頂けるようにしている。	共用空間は採光や換気、温度・湿度に配慮し清潔である。玄関には置物や季節の花が飾ってある。廊下には行事の写真や懐かしい歌詞が掲示してあり、季節感を大事にした飾りつけがある。台所も開放的で会話も楽しめる。好きな場所のソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでテレビ鑑賞する方、読書される方、会話を楽しまれる方、それぞれが楽しめるよう工夫している。また利用者同士不快にならない様席の配置を配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の希望に応じて写真・花を飾り居心地の良い空間を作っている。必要であればテレビ・ラジオもご家族に相談し準備して頂いている。	居室はエアコンとベッド・洗面台が備え付けである。テレビやタンス・寝具・時計・ラジオ・暦・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、壁には自作の作品が貼られ、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  掃除も行き届き、居心地よく過ごせるように工夫している。	立位の出来る方にはベッドの手すりを工夫したり、トイレ・廊下にも手すりを設置している。各部屋には利用者様が読める様な字の大きさ・色等で工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない